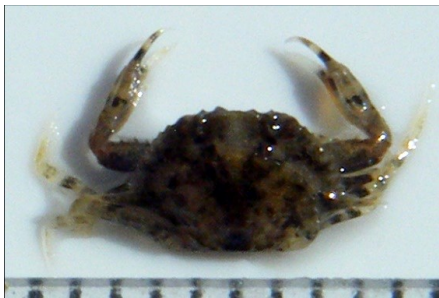


多くのガザミの稚ガニ

■河口で成長する稚ガニ

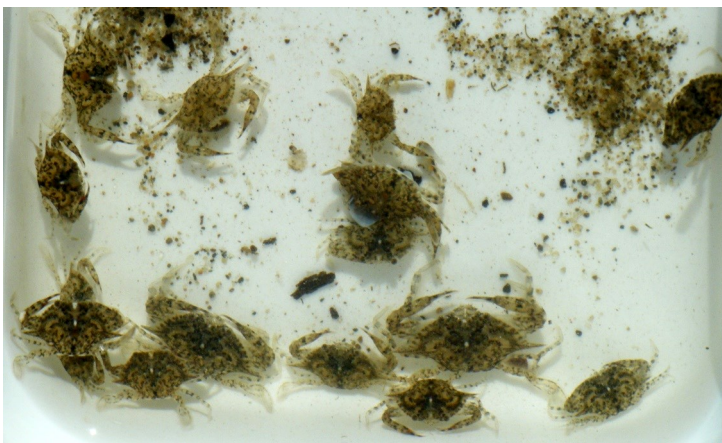
今月も七北田川河口での調査を行うことができたが、イシガレイの稚魚は見られなかった。河口では多くのガザミの稚ガニを採集した。採集した個体は甲幅7mm～50mmで、計22匹の個体が採集された(Fig.1～3)。最も数が多かったのは甲幅15mm程度の個体であった。最大の甲幅50mmの個体(Fig.4)は殻が柔らかく、脱皮してから間もない個体であると思われた。また、甲幅を測定している途中に気づいたが、稚ガニはオスばかりのように思われた(Fig.5)。これについては次回の調査時に確認したい。なお、河口・潟湖内両方でマゴチの稚魚(Fig.6)を採集した。



(Fig.1 ガザミ稚ガニ 甲幅7mm)



(Fig.2 ガザミ稚ガニ 甲幅20mm 甲幅7mm)



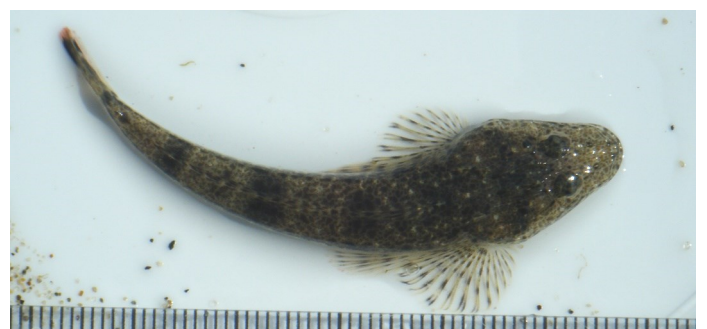
(Fig.3 採集した稚ガニ)



(Fig.4 ガザミ稚ガニ 甲幅50mm)



(Fig.5 オスの稚ガニ)



(Fig.6 マゴチ)